

本道における自閉症・情緒障がい教育の充実を目指し、教員の指導力の向上を図るため、参考となる資料を作成しました。前号と今号で、自閉症のある子供に対する義務教育段階における特別な指導内容等について、8つの参考例を紹介いたします。

### 6 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること



抽象的な表現の理解や、指示の内容を具体的に理解することが難しい子供に対しては、どのようなことに留意して指導に当たると良いですか？



- 指示の内容や作業手順、時間の経過等を視覚的に把握できるように教材・教具等の工夫を行うこと
- 手順表などを活用しながら、順序や時間、量の概念等を形成できるように指導すること

が大切です。

### 7 他者の意図や感情の理解に関すること



言葉や表情、身振りなどから相手の思いや感情を読み取り、それに応じて行動することが困難な場合や、言葉を字義通りに受け止めてしまい、相手の真意の読み取りを間違えてしまうことがある子供に対しては、どのようなことに留意して指導に当たると良いですか？



- 生活上の様々な場面を想定し、そこでの相手の言葉や表情などから、相手の立場や相手が考えていることなどを推測すること
- 他者と関わる際の具体的な方法を身に付けることができるように指導すること

が大切です。

### 8 生活習慣の形成に関すること



特定の食物や衣服に強いこだわりを示す場合があり、極端な偏食になったり、季節の変化にかかわらず同じ衣服を着続けることがある子供に対しては、どのようなことに留意して指導に当たると良いですか？



- 子供一人一人が直面している困難さの要因を明らかにすること
- 保護者等と学校が連携して、無理のない課題から段階的に指導していくこと

が大切です。



※8つの参考例のうち、1～5については、「自閉症・情緒障がい教育参考資料 第2号」を参照してください。



※「自閉症・情緒障がい教育参考資料 第1号」は、こちらを参照してください。



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
「もしかして、それ…二次的な障害を生んでいるかも…?」(令和3年3月)

【3つの視点】

- 学びへのアクセス
- 自己理解
- 信頼感

子供たちが社会の中で自己実現できるよう、学校教育の中で、友人や教員等との間に信頼感を育みながら、学びを楽しみ、こうなりたい自分に少しでも近づけるよう支援することが学校教育の目指すべき姿です。



【リーフレット一覧】

